

都市再生整備計画 事後評価シート
流山おおたかの森駅周辺地区

令和5年3月

千葉県流山市

様式2-1 評価結果のまとめ

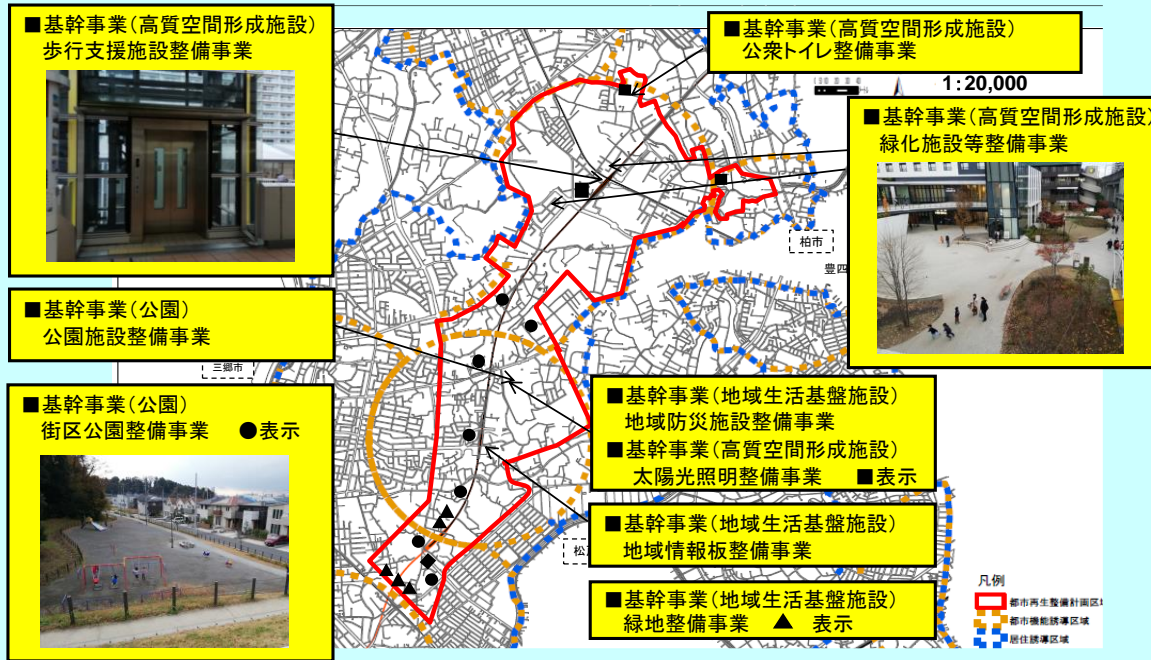
都道府県名	千葉県	市町村名	流山市	地区名	流山おおたかの森駅周辺地区			面積	347ha				
交付期間	平成29年度～令和3年度	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	998.0	国費率	0.471						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設事業】地域防災施設整備事業(大堀川水辺公園、西初石近隣公園、十太夫近隣公園)、地域情報版整備事業(おおたかの森駅前、セントラルパーク駅前)										
		提案事業	【高質空間形成施設】歩行支援施設整備事業(おおたかの森駅エレベーター)、緑化施設等整備事業(おおたかの森駅北口)、太陽光照明整備事業(大堀川水辺公園、西初石近隣公園、十太夫近隣公園)										
	新たに追加した事業	基幹事業	道路緑化事業(市道112号、市道296号)	削除/追加の理由		予定箇所の沿線関係者・住民の理解、同意を得られなかったため。				指標2、3に関係するが、影響は少ないと思われる。			
		提案事業											
		基幹事業	【公園】街区公園整備事業(運動公園周辺地区街区公園(1-3,5-7号)、西平井・鰯ヶ崎地区3号街区公園、鰯ヶ崎・思井地区1号街区公園、西初石近隣公園)	削除/追加の理由		子育て世代のコミュニティ拠点の機能かつ災害時の一時避難地としての役割や、区域内の避難動線を補完する緑のネットワークを形成する公園整備事業を追加することで、安全性、利便性、快適性、通学環境を改善させるため。				指標2、3、5に関係すると共に、小目標②「暮らしやコミュニティに配慮した快適で魅力あるまちづくり」に寄与するもの。			
		基幹事業	【公園】公園施設整備事業(総合運動公園再整備)	削除/追加の理由		子育て世代の増加に伴う市民要望に対応するため、本市の基幹公園である総合運動公園内に遊具施設を新たに整備する計画。子どもや子育て世代のコミュニティ拠点となるよう地域の活性化に貢献し、目標・指標の改善への貢献を見込む。				指標2、3、5に関係すると共に、小目標②「暮らしやコミュニティに配慮した快適で魅力あるまちづくり」に寄与するもの。			
		基幹事業	【地域生活基盤施設事業】緑地整備事業(西平井・鰯ヶ崎地区緑地(2-4号)、鰯ヶ崎・思井地区緑地(1-3号))	削除/追加の理由		区域内の避難動線を補完する緑のネットワークを形成する公園整備事業を追加することで、安全性、利便性、快適性、通学環境を改善する。				指標2、3、5に関係すると共に、小目標②「暮らしやコミュニティに配慮した快適で魅力あるまちづくり」に寄与するもの。			
		提案事業	【高質空間形成施設】緑化施設等整備事業(おおたか駅前都市広場(北口、南口)、市野谷水鳥の池照明整備、小山さくら通り植栽整備)	削除/追加の理由		賑わい空間の創出、良質な景観形成等により、交流空間としての利便性、快適性を高めるため。				指標2、3に良い影響を与える。			
	提案事業	【高質空間形成施設】公衆トイレ整備事業	削除/追加の理由		子育て世代の増加に伴う市民要望かつ災害時の一時避難地としての役割に対応するため。				指標2、3、5に関係すると共に、小目標①「人口増加に対応した安心安全なまちづくり」に寄与するもの。				
	交付期間の変更	当初	平成29年度～平成33年度	変更		なし				交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	市内の駅等がバリアフリーになっていると思う人の割合	%	62.3%	H27	67.3%	R3	モニタリング	59.0%	×	あり	駅のエレベータ設置により、バリアフリー化を推進したが、目標達成には至らなかった。本計画内では駅にエレベータを設置したが、アンケートでは市内の駅・道路・施設のバリアフリー度を尋ねており、結果への影響が表れにくかったことが要因と考える。	-
	指標2	住み心地が良いまちだと思う人の割合	%	32.6%	H27	40.0%	R3	—	39.6%	△	あり	わずかに目標値に至らなかったが概ね目標値に達しており、公園や緑地の整備、駅前広場の整備、防災設備の整備により、住環境が向上したものと考える。	-
	指標3	住み続けたいと思う人の割合	%	44.0%	H27	51.4%	R3	—	43.6%	×	あり	アンケートにおいて「当分は住み続けたいと思う人の割合が従前値より上昇した。本指標は「ずっと住み続けたい」と思う人のみを指標値として設定したため目標達成には至らなかったが、公園や緑地の整備、駅前広場の整備、防災設備の整備により、まちの賑わいや安全性は向上し、事業効果があったものと考えられる。	-
	指標4	流山おおたかの森駅の利用者	人	59,844人	H27	70,000人	R3	—	57,755人	×	あり	魅力あるまちづくりを行ったが、コロナ禍により鉄道利用者が減ったこともあり、目標達成には至らなかった。	-
	指標5	子育てがしやすいまちだと思う人の割合	%	21.6%	H27	26.9%	R3	—	34.5%	○	あり	公園の遊具や駅のエレベーターなど、子育て世代に有効活用される設備が整備され、高い数値目標を得ることができた。	-

	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	その他の 数値指標1	その他の 数値指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	住み続けたいと思う人の割合 (ずっと+当分は住み続けたい)		%	84.2%	H27			90.6%				指標3に関連する事業によりまちの賑わいや安全性が 向上し、住み続けたいと思う人の割合が上昇した。	-	
	その他の 数値指標2	-	-	-	-			-				-	-	
	その他の 数値指標3	-	-	-	-			-				-	-	
4)定性的な効果 発現状況														
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
	官民連携による取組	流山おおたかの森駅北口都市広場整備に先立ち、隣接する民間 が所有する広場と一体的な歩行空間として整備を実施し、効率的 かつ効果的な空間形成の構築を行った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	広場の維持管理について効率化を図る。				
	持続的なまちづくり 体制の構築	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					

様式2-2 地区の概要

流山おおたかの森駅周辺地区(千葉県流山市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:安全で良質な交通結節点をめざしたいつまでも住み続けたいまちづくり 小目標①:人口増加に対応した安心安全なまちづくり 小目標②:暮らしやコミュニティに配慮した快適で魅力あるまちづくり	市内の駅等がバリアフリーになっていると思う人の割合 単位:%	62.3%	H27 67.3%	R3 59.0% R3
	住み心地が良いまちだと思ふ人の割合 単位:%	32.6%	H27 40.0%	R3 39.6% R3
	住み続けたいと思ふ人の割合 単位:%	44.0%	H27 51.4%	R3 43.6% R3
	流山おおたかの森駅の利用者 単位:人	59,844人	H27 70,000人	R3 57,755人 R3
	子育てがしやすいまちだと思ふ人の割合 単位:%	21.6%	H27 26.9%	R3 34.5% R3



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・選ばれるまちとして更なる発展を目指し、より一層まちの魅力を高めていくため、快適性を向上させる施設や地域防災施設を整備する →公園・緑地・トイレの整備により、子育て世代のコミュニティ拠点として快適な空間を創出すると共に、災害時における一時避難地を確保した。 ・暮らしやコミュニティに配慮した快適で魅力あるまちづくり →流山おおたかの森駅前広場における施設整備による都市機構の強化で、賑わい創出は一定程度図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・当該計画によって整備した公園・緑地・トイレなどを適切に維持管理していく。 ・駅前広場が文化交流機能の拠点として有効活用が図られ、より利用しやすい施設として活用されるよう工夫していく。 ・令和4年度から同様の地域を対象とした計画において以下の事業が実施されており、人口増に対応した快適性の向上に向けた整備を継続していく。 ○土地区画整理事業の進捗に合わせ、総合運動公園のスポーツ施設を含む公園全体の再整備や、公園・緑地等の整備を進め、市民の憩いの場を増やしていく。 ○流山おおたかの森駅近隣のセンター地区道路を整備することで、歩行者の安全確保とまちの回遊性を創出し、地域住民の快適性を向上させ、市民の憩いの場を増やしていく。 ・まちの魅力や価値を高め、市民が誇りや愛着を有するまちづくりのため、流山おおたかの森駅前広場のセンター地区まちなみづくり指針に則り、近隣の商業施設をはじめとした官民が連携し、「森のまち」を感じる一体感のある空間づくりを実施していく。